

## 新 7 つの課題の大玉 PJT テーマ案

・以下はドラフトであり、今後詳細を議論する中で変更される可能性があります。

| 「新 7 つの課題」  | 大玉 PJT テーマ案と狙い  |
|---|---|
| <b>①重要資源・部品の安全保障</b><br>…資源・部品不足による「作れない」をなくす                               | <b>■リスク低減・後戻りしない仕組みづくり PJT</b><br>・業界としての、足下の資源調達の対応力強化<br>・競争・協調の明確化と、業界としてのコミット具体化                                |
| <b>②マルチパスウェイの社会実装</b><br>…50 年 CN に向け、マルチパスそれぞれで脱炭素商品の普及を目処付け               | <b>■（検討中）</b><br>・水素需要の予見性を高め、関連業界が投資しやすくなるための業界としてのコミット具体化<br><br><b>■（検討中）</b><br>・日本の BEV の事業化・普及に向けた課題・打ち手の具体化  |
| <b>③CE の仕組みづくり</b><br>…経済安全保障・環境対応に向け部品・資源を使い倒す仕組みを構築                       | <b>■電池の静脈産業事業化 PJT</b><br>・静脈産業の事業化に向けた課題・道筋の具体化  |
| <b>④人材基盤の強化</b><br>…安定した開発・生産・販売・サービスに向けて、継続的に人材が確保・育成される仕組みを構築             | <b>■（検討中）</b><br>・自動車産業における人材不足の真因究明と打ち手明確化<br>・産業の魅力訴求・採用増に向けた、生産現場の働き方改革  |
| <b>⑤自動運転を前提とした交通システム確立</b><br>…安全・安心な交通社会に向けて車両・人・インフラ三位一体で仕組み構築            | <b>■（検討中）</b><br>・社会実装に向け、交通システム基盤を統一   |
| <b>⑥自動車関連税制抜本改革</b><br>…簡素化・負担軽減でユーザーに納得感のある税体系へ                            | <b>■車体課税の簡素化・負担軽減</b><br>・今回の税制大綱で示された「簡素化・負担軽減」の道筋のさらなる具体化   |
| <b>⑦サプライチェーン全体での競争力向上</b><br>…電動化・知能化や労働力不足に対応し、競争力を高めるべく SC を再構築し、現場の余力を拡大 | <b>■共同物流実装に向けた標準プラットフォーム構築 PJT</b><br>・物流改善に必要な規制緩和の推進と、現場の余力創出に向けた物流情報の相互開示推進<br>※詳細別紙<br><br><b>■部品標準化（詳細検討中）</b> |